

地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 令和4年度 シンポジウム

令和5年3月10日（金）14:00～17:00（13:30受付開始）

会場 アートホテル盛岡 3F 鳳凰の間
（盛岡市大通3-3-18）

申込方法 要事前申込 令和5年3月8日（水）締切
参加の方は事前に申込みフォームに入力下さい。



参加費
無料

岩手大学と岩手県は、文部科学省事業「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」において、エレクトロニクス実装分野への応用を目指した「分子接合技術」と「特殊樹脂精密合成技術」の研究開発を実施しています。本シンポジウムでは、本事業での研究成果や、地域のものづくり企業における活用事例を紹介し、今後の技術展開の将来性を考えます。

プログラム

挨拶 岩手大学 学長 小川 智
岩手県 知事 達増 拓也

来賓挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課
拠点形成・地域振興室長 梅原 弘史 氏

(1) 特別講演 14:15～15:00（45分）
「ITがけん引する高集積半導体とパッケージング技術の進展」
国際技術ジャーナリスト 津田 建二 氏

(2) 事業報告 15:00～15:30（30分）
総括 事業プロデューサー 藤代 博之
プロジェクト1 平原 英俊、鈴木 一孝
プロジェクト2 大石 好行

(3) パネルディスカッション 15:50～16:55（65分）
モデレーター 事業プロデューサー
パネリスト 株式会社朝日ラバー 代表取締役
株式会社いおう化学研究所 代表取締役
京浜光膜工業株式会社 秦野工場技術部 次長
コメンテーター

技術の特徴

高密着平滑めっき、異種材料結合、
三次元配線、新規低誘電樹脂材料

藤代 博之
渡邊 陽一郎 氏
森 克仁 氏
中村 圭汰 氏
津田 建二 氏

主催：岩手大学、岩手県

共催：岩手大学分子接合技術研究センター、地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

後援：公益財団法人 いわて産業振興センター、いわて半導体関連産業集積促進協議会、
いわて自動車産業集積促進協議会、東北ライフサイエンス・インストルメンツ・クラスター、
いわて医療機器事業化研究会、岩手ネットワークシステム、INSポリマー研究会、東北ポリマー懇話会

地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 令和4年度 シンポジウム

特別講演者 略歴

(1) 特別講演者 略歴

津田 建二 氏

(セミコンポータル編集長、NEWS & CHIPS編集長、国際技術ジャーナリスト)



現在、英文・和文の独立系技術ジャーナリスト。40年間、半導体産業を取材してきた経験を生かし、NEWS & CHIPS (newsandchips.com) を通し半導体産業にさまざまな提案をしている。セミコンポータル (www.semiconportal.com) 編集長を務めながら、マイナビニュースの連載「カーエレクトロニクス」のコラムニストでもある。

半導体デバイスの開発等に従事後、日経マグロウヒル社(現在日経BP社)にて「日経エレクトロニクス」の記者に。その後、「日経マイクロデバイス」、英文誌「Nikkei Electronics Asia」を創刊、日経BP社を20数年すごした。その後、リードビジネスインフォメーションに移り、「Electronic Business Japan」、「Design News Japan」、「Semiconductor International日本版」を相次いで創刊した。2004年に代表取締役役に就任。2007年6月に独立系の国際技術ジャーナリストとして独立。執筆書籍は「メガトレンド 半導体2014-2023」(日経BP社刊)、「知らなきやヤバイ! 半導体、この成長産業を手放すな」、「欧州ファブレス半導体産業の真実」(共に日刊工業新聞社刊)、「グリーン半導体技術の最新動向と新ビジネス2011」(インプレス刊)など。

主催：岩手大学、岩手県

共催：岩手大学分子接合技術研究センター、地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

後援：公益財団法人 いわて産業振興センター、いわて半導体関連産業集積促進協議会、

いわて自動車産業集積促進協議会、東北ライフサイエンス・インストルメンツ・クラスター、

いわて医療機器事業化研究会、岩手ネットワークシステム、INSポリマー研究会、東北ポリマー懇話会